見附市長 稲田 亮

市民からの評価

R4年度 市民アンケート

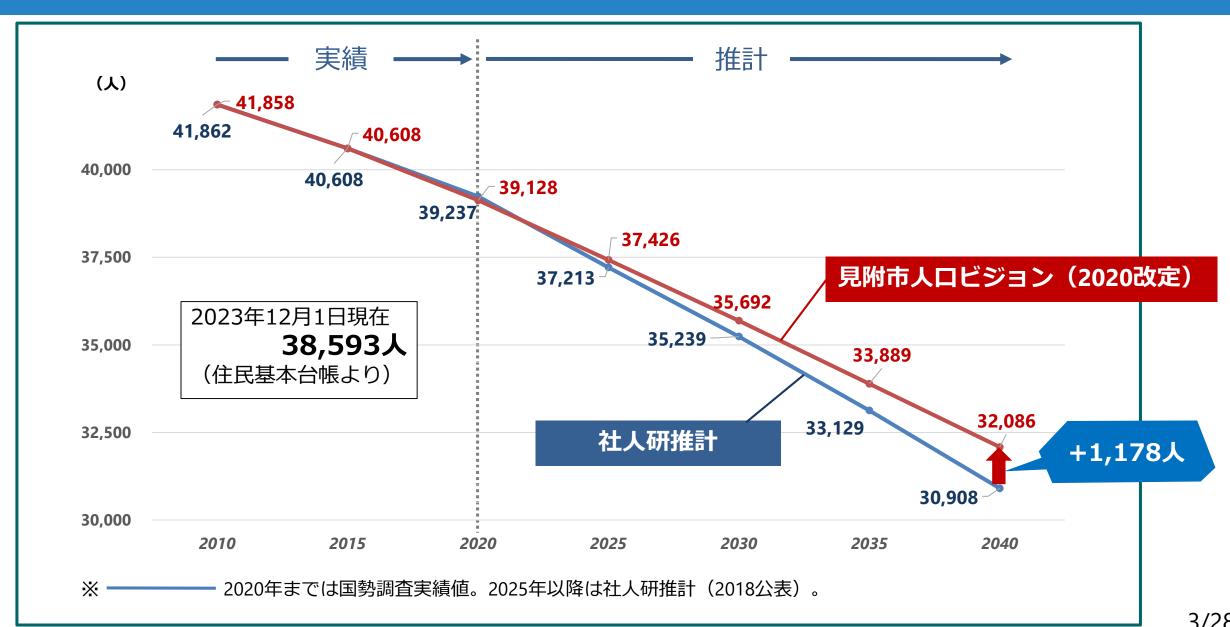
Q. 見附市は住み良いまちですか?

「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合

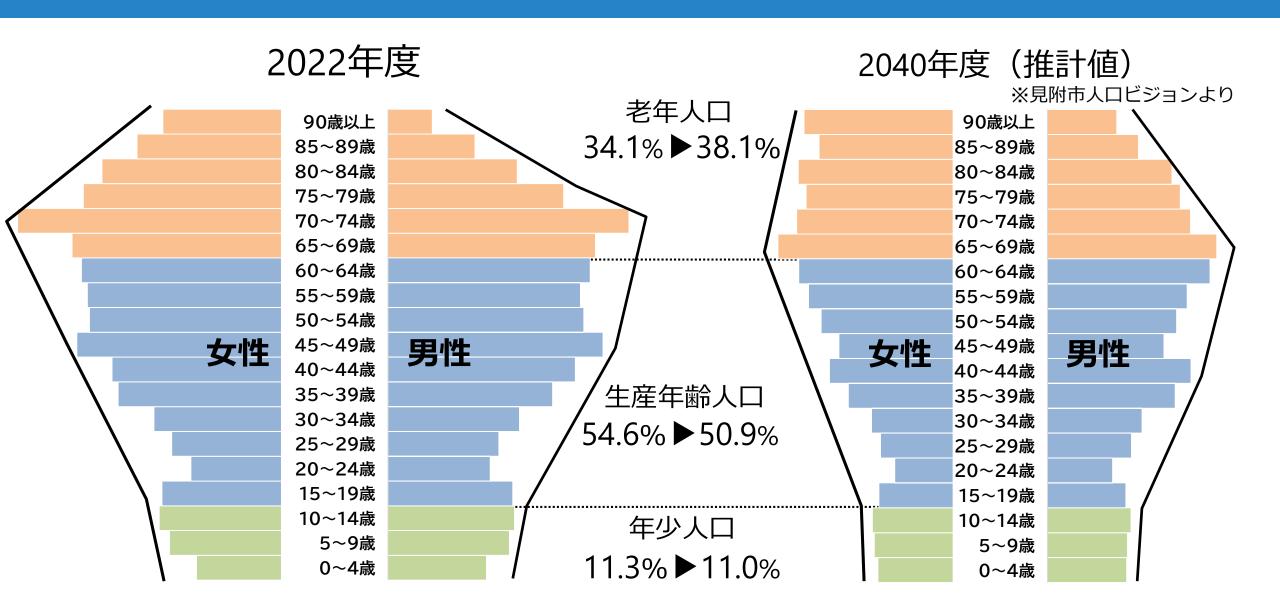
90.3% **91.2**% 過去最高 (R2)

- 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合が
- → 高い年代 ①70代 96.2% ②60代 95.0% ③50代 91.5%
- → 低い年代 ①20代 83.4% ②40代 88.6% ③30代 91.1%

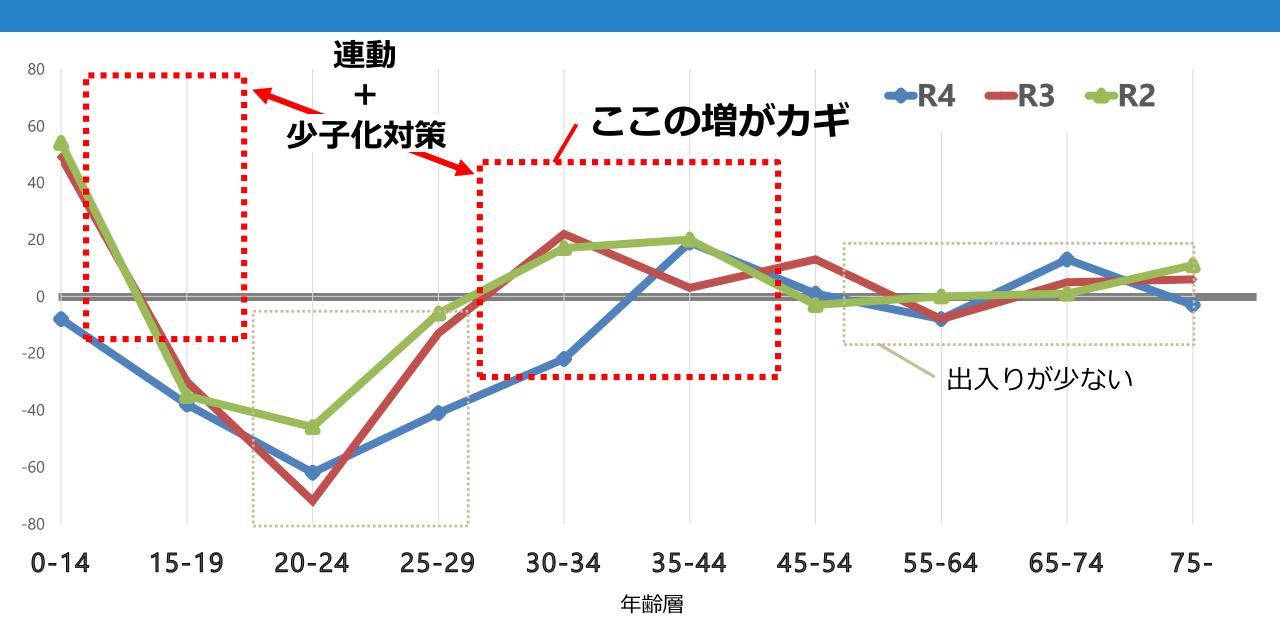
見附市の人口の推計と目標



見附市の年齢別人口



見附市の年齢階層別の人口移動状況



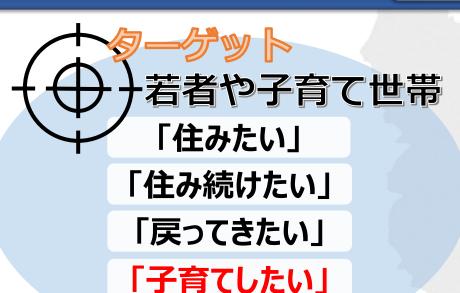
※新潟県人口移動調査より(前年10月~9月の人口移動の状況)

今後の課題と取り組むべきこと

直面する大きな課題

人口減少の抑制

少子高齢化への対応





並行して 全市民を対象

- ・地域医療や防災対策の充実
- ・市民力も活かして課題を解決



・魅力的な産業や働く場の創出

と思えるまちに

・住環境や子育て環境の充実 etc

誰もが

「暮らし満足No.1」と思えるまちに

総合計画と7つの柱

「暮らし満足No.1のまち」を目指して

第5次総合計画後期基本計画 「3つの方向性」

健幸の持続性 ➡ 健康長寿社会

^①スマートウエルネス シティ(SWC)

> 住んでいるだけで 健やかに 幸せに 暮らせるまち

^②SDGs未来都市

経済·社会·環境

「誰一人取り残さない」社会の実現



^{地球規模での} 持続可能性 → 全t

→ 全世界でベクトル (理念)の合意 ³Society 5.0

ソサエティ

あふれる情報や忙しい日常から 生活に余裕をもたらす

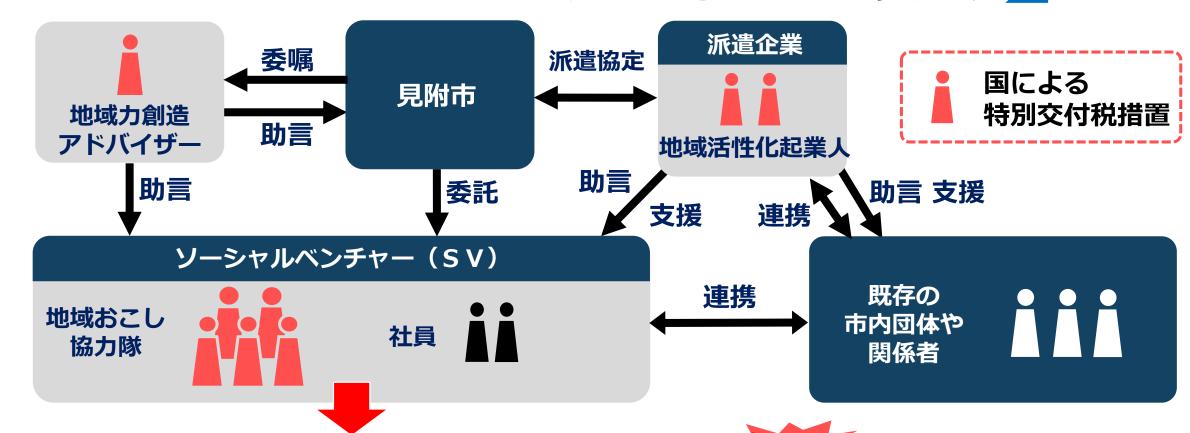


デジタルテクノロジー (AI.IoT)の進化と導入 経済発展と社会的 課題の解決

力を入れて取り組みたい **「7つの柱」**

- ① まちと産業を元気にする
- ② こどもと子育てを支える
- ③ 健幸づくりを支える
- ④ 暮らしの安心・安全を確保する
- ⑤ 市民の皆様に寄り添う
- ⑥ あらゆる力を結集する
- ⑦ 行財政を検証し必要に応じ見直す

地域の魅力向上や課題解決のための体制と取り組み



地域課題の解決

- ・ふるさと納税強化
- · 起業相談、移住支援
- · 産業振興
- ・空き物件の利活用
- ・民間ノウハウを活用した課題解決
- 体制確保に国が財政措置
- ▶ 見附への移住につなげる



ふるさと納税の強化 🖊

・SV事業によるふるさと納税体制の強化

1 燕 市 55億円

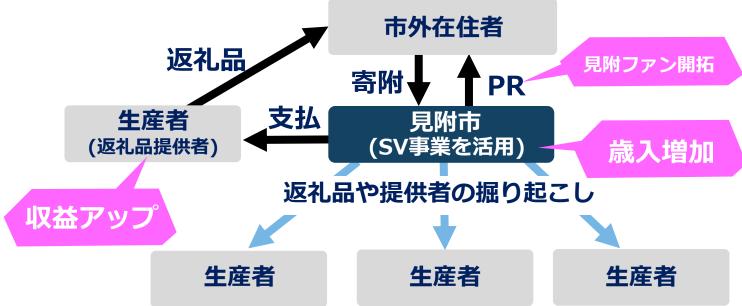
₩ 2 南魚沼市 51.4億円

┷ 3 魚沼市 50.6億円

:

26 見附市 0.6億円

(令和4年度県内30市町村 寄付額順位)







▲お米



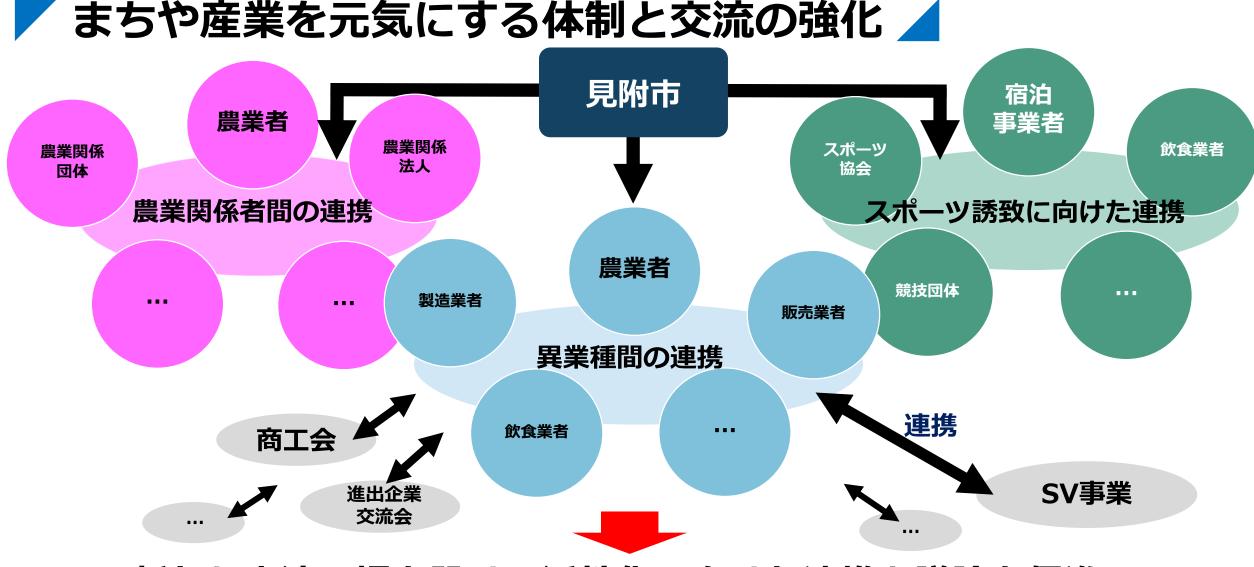
▲シャインマスカット



▲ニット製品



▲極太アスパラガス



新たな交流の場を設け、活性化に向けた連携と議論を促進

産業界の新たなチャレンジへの支援

- 時代の変化に対応した新たな取り組みを行う事業者への支援
- MITSUKEKNITブランド支援
- ・ **にら1億円産地化** に向けた市場開拓と生産体制強化

見附で働く仕組みの構築と強化

- ・企業の人材確保に向けインターンシップの受入を支援
- ▶ 起業や移住等の相談窓口の設置(SV事業)
- ▶ 小中学校における起業家教育の推進(出店体験、新商品開発体験 など)

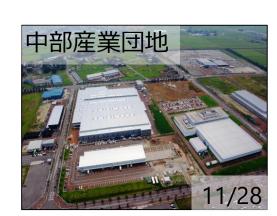
交流人口や関係人口の拡大促進

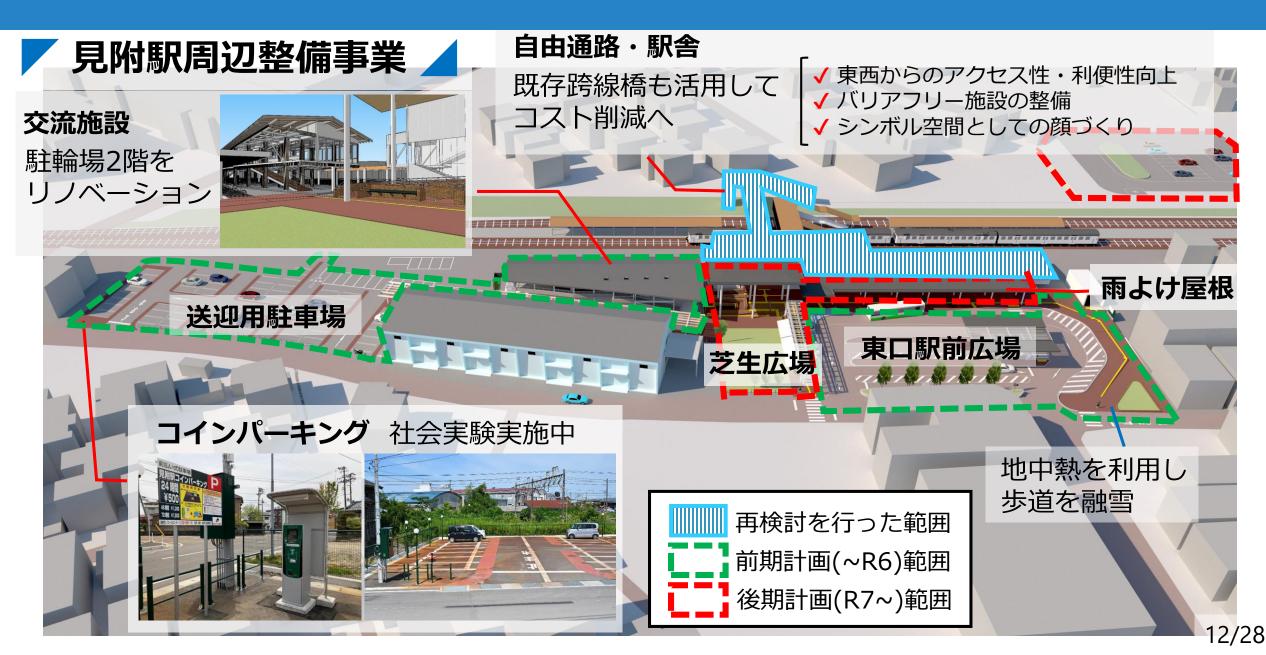
- 短期雇用支援サイトを利用する事業者への支援
- 「見附さぽーた」制度などによるつながりの強化

若者や子育て世帯などを呼び込む都市環境の確保

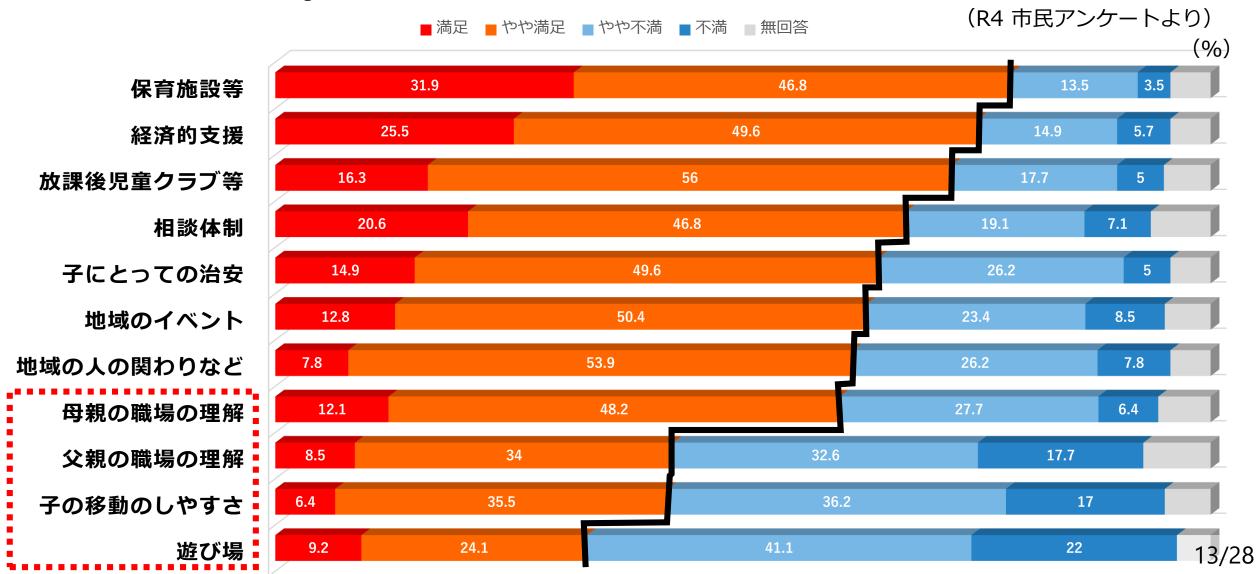
▶ 住宅用地確保や企業誘致推進に向けた住宅・都市環境の検討







Pick UP Q. 見附市の子育て環境について、どの程度満足していますか?



働きながら育てられる環境整備

- 認定こども園・私立保育園の建替や新築支援
- 子育てしやすい職場づくりの後押し
 - → 企業の理解醸成に向けた講演会の開催
 - → 取り組む企業へのインセンティブ支援

企業の人材確保効果も 期待

県のハッピー・パートナー パパ・ママ応援プラス 以下の取り組みを行う事業者を県が認定して支援

男女ともに働きやすい職場環境づくり

仕事と家庭・その他の活動の両立支援

女性の能力を活かすための取り組み



男性従業員の育児参画支援

従業員の子育て支援



男女とも

- 認定事業者へ 市からも支援
- 奨励金交付 ・従業員に育休取得させた場合に助成金交付
- ・既存の設備投資補助に上乗せ

子どもの居場所 プレイラボみつけ / 学校町に 7/16オープン

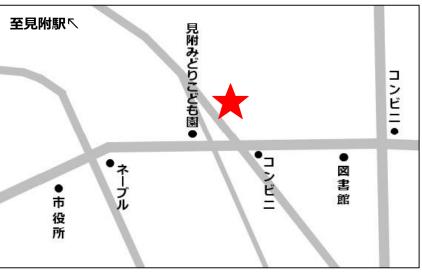
- ・旧商業施設をリノベーション
- 天候に左右されず、子どもがのびのびと 身体を動かせる屋内施設
- ・小学校高学年がメインターゲット
- ・子どもや保護者の相談に応じられる

体制を整備





▲整備にあたっては 設置する用具や利用ルールに 子どもたちの意見を反映



遊び場の確保、活動の充実、移動のしやすさ 🖊

見附駅交流拠点の運営と 中高生を中心としたにぎわいの創出







コミュニティバスの中学生以下無料化

7/1スタート

子育て世帯や若者が より楽しめるような 大平森林公園の リニューアル



| 出産・子育てに対する負担軽減 |

- ・伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施
 - → 妊婦に5万円+生まれた子1人あたり5万円
- 妊産婦健康診査料の助成(産婦健診への拡大)
- インフルエンザ予防接種助成の中高生への拡大

- ・放課後児童クラブへのWi-Fi環境整備を支援
- ・中学生のスポーツ活動の選択肢確保に向け 部活動の地域連携や地域スポーツクラブ移行を支援

▼ 取り残されることなく子どもが育つ環境づくり ▲

- 多重な困難を抱える家庭に対する育児・家事支援
- ・ひとり親世帯の養育費確保に向けた支援
- 中学校の特別支援教育の充実

R5年度 モデル種目 ソフトテニス 卓球

7つの柱
 ②こどもと子育てを支える
 ⑤市民の皆様に寄り添う

学校教育環境に関するタウンミーティング

学級数や児童生徒数の減少、偏在

背景

小学校 小規模校の

小規模校の取り組みへの評価の一方で、保護者からの不安の声も

中学校

中学校2校 老朽化に伴う大規模改修の予定

市全域での目指すべき教育環境の検討にあたり 子育て世代を中心に市民の声を聞く**タウンミーティング**開催

「(仮称)見附市子ども・子育て条例」の制定

子ども一人ひとりに主体的に生きる権利があること

- ・地域や企業を含め みんなで子どもや子育てを支える
 - 市民の皆様と考えを共有し、市外にも広く発信

令和5年度中

子どもアンケート

・検討委員会の開催

7つの柱 ③健幸づくりを支える

住んでいるだけで健やかで幸せに暮らせるまち 「スマートウエルネスみつけ」を 高齢者のみならず若者や女性、子どもたちにも

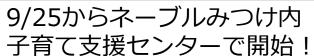
▶ みつけ子育てママ 健幸スマイルスタジオ ▲





- 妊娠・出産を機にホルモンバランスや 体調の変化、心身の不調が現れることも…
- 子育てでママ自身の健康が後回しになりがち





全国12自治体で連携



妊婦さんやママの健康づくりや子育て不安の解消へ

対面+オンライン

運動を通し 心身リフレッシュ専用アプリで

健康状態把握

出産・子育で

7つの柱 ③健幸づくりを支える

▼ スマートウエルネスみつけ の取り組み ▲



地域医療体制の充実

- ・診療所の新規開業に向けた積極的な誘致
 - ・重点5科目の開業に上乗せ支援(R4)
 - → 内科 小児科 整形外科 精神科 産婦人科 →
 - ・建築費等の高騰を踏まえ補助上限額を増額
 - → さらなる誘致を展開
- ケアマネジャー等の支援者のための相談窓口を 市立病院内に設置
- 市立病院の役割強化
- 医師会と連携した在宅医療、介護連携の促進
- 人工透析福祉デマンドタクシー増便による通院支援

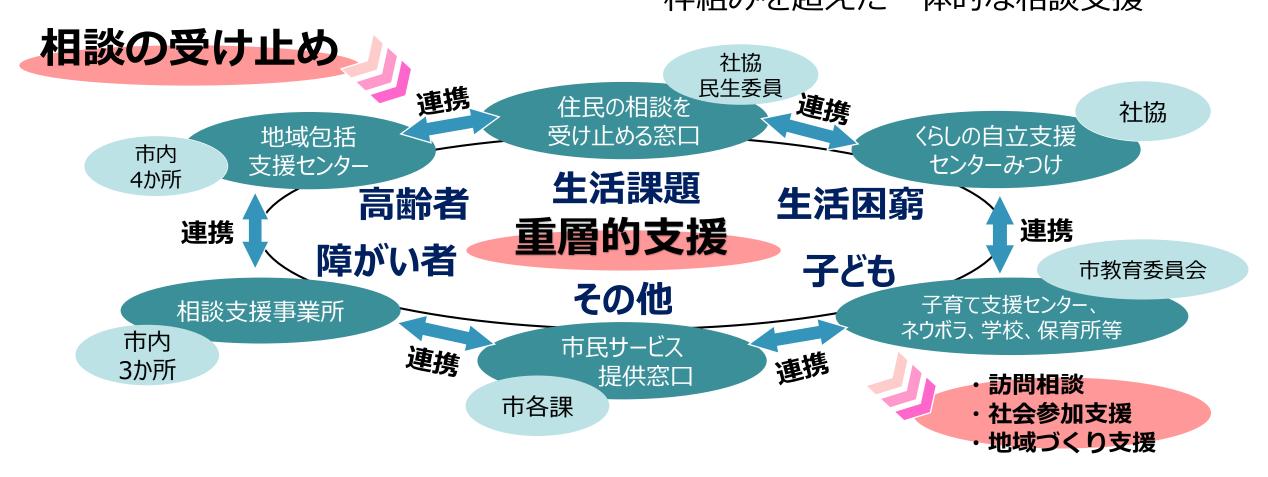


R5.4月 新町に3医院が新規開業 (小児科、内科、精神科)



7つの柱 ③健幸づくりを支える

重層的支援体制整備事業 ▶ 高齢、障がい、育児、生活困窮といった 枠組みを超えた一体的な相談支援



▶ R5は具体的な案件を検討、訪問相談や活動への参加支援を実施

7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

ソフト面の防災体制の強化

- 全市一斉の総合防災訓練
- · 地震対応訓練
- 原子力防災訓練
- ・ミサイル等武力攻撃に対する訓練
- 要支援者の避難対応訓練 ▶ 避難計画作成の加速化
- 緊急時の市民向け情報発信の強化

ノード面の防災体制の強化 🖊

- ・貝喰川改修による浸水対策(県事業)早期完了に向けた遺跡発掘調査の加速化
- 加圧式給水車の導入による災害時等の応急給水の迅速化、対応力の強化



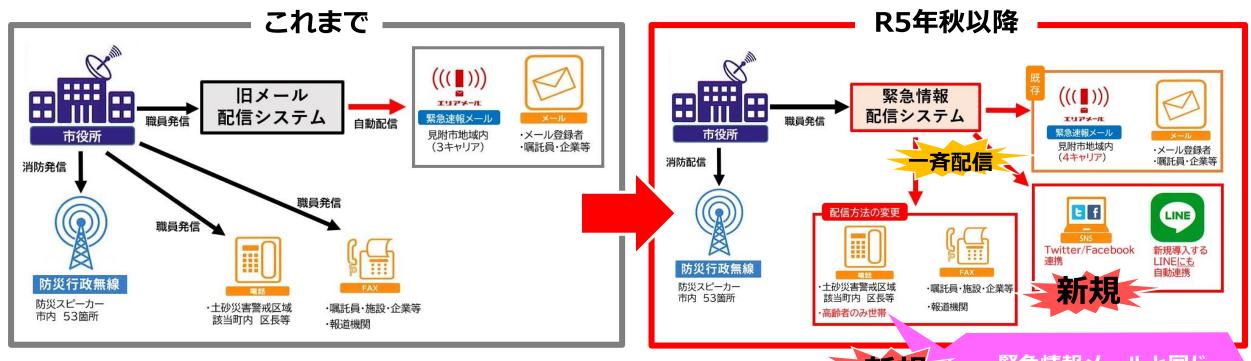
あらゆる事態への備えを強化



▲要支援者避難訓練

7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

緊急時の市民向け情報発信の強化



変更点

- ・市民にとって …情報を受け取れる手段の増加
- ・市の職員にとって … 一度の操作で複数媒体に一斉発信でき効率化
 - → 他の緊急対応への迅速な移行が可能に

7つの柱 ⑤市民の皆様に寄り添う

▼ ICTを活用した市民サービスの充実 🚄

「書かない窓口」の運用

- 1/16 スタート
- ✔ 各種手続きの際の申請書の記入などを簡易化
- ✔ 9部署234の申請・手続きで運用

これまで

- ・数多くある申請書から 必要な書類を選ぶ手間
- ・住所、氏名、生年月日、家族情報など多くの記入が必要



- ・職員が用件を聞き取りし申請書を作成
- ・来庁者は内容確認と署名だけ
- ・聞き取り事項は市システム内で情報共有
 - ▶ 申請漏れを無くし、他課での手続きに 円滑に引継ぎ
 - ▶ 待ち時間の短縮

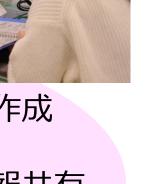


市公式LINEの導入

関心のあるジャンルや居住場所に応じた内容をプッシュ型配信

市ホームページリニューアルによる情報発信の強化





7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

市民活動・ボランティア活動 🥒

市民活動・ ボランティア 連絡協議会 (みつけボラーレ) 加盟団体数

(R5.4月現在)

保健福祉	18	地域活動	3
まちづくり	10	国際交流	1
社会教育	5	子ども	18
文化芸術	34	科学技術	1
環境	5	計	95

※このほかにも多くの団体が活発に活動



一 引き続き支援

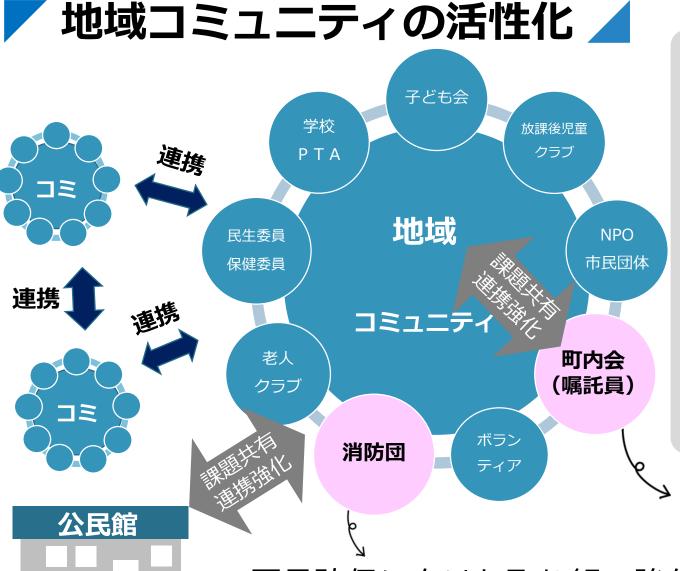


持続可能な市民活動体制の構築に向け、 体制整備や担い手の確保をバックアップ



▲イングリッシュガーデンの植栽等を 行う「ナチュラルガーデンクラブト

7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する



地域課題の解決に向けた取り組み

- 子ども▶ 安全安心、居場所の創出
- ト 高齢者 ▶ 見守り支援
- ・移動支援▶ コミワゴンの積極活用



▶ さまざまな組織との連携や 市のサポート

▶ 提案型予算制(チャレンジ枠)導入

R5年度より担当をまちづくり課へ

➡ 連携や業務改善を一体的に検討

団員確保に向けた取り組み強化

など

7つの柱 ⑦行財政を検証し必要に応じ見直す

Pi

Pick UP 中長期財政計画による見込み (R5.2月更新)

多くの年度で歳出超過の見込み (円) R3 実績額 R11 見込額 R2 実績額 R12 見込額 ▲ 3億95百万 ▲ 5億98百万 市の基金増減額 51億91百万 市の基金残高 47億96百万 … 26億20百万 20億22百万 ※一部の大型事業計画は含まれていない → 大きく減る見込み

- 地場産業の活性化や企業誘致、ふるさと納税など 税収増加につながる取り組みを推進
- ・公共施設やその運営方法の最適化を含め、事業の検証や見直しを推進



課題解決に向けた新たな取り組みへの予算を確保

おわりに

市民の皆様との懇談の場の設定

情報収集と分析

市民の皆様の声や課題の把握

職員による 施策の議論と提案 市役所の 人づくり 組織づくり



地域や時代のニーズをとらえた施策をボトムアップで形成



みんなでつくる

暮らし満足No.1のまち